

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは、観光客をはじめ、周辺の郡部からも商店街に人が訪れてきたため、飲食店、商店とも繁盛している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・ゴールデンウィークは、SARSの影響から旅行を控えて、その分を消費に回しているためか、商品単価が上昇し、購入点数も増えている。
	変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・例年並みの売上はあるが、単価の安いものだけが買われており、かなり数を売らなければ売上を維持できない状態である。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・売れる部門と売れない部門の書籍との格差が大きくなっている。また、売れる部門の書籍についても、立ち読みだけの客が多く、なかなか購買につながらない。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・目的のない売場へは立ち寄らないという状況で、買い回り客が非常に少なく、特に女性客にそういう傾向を強く感じる。こうしたことから、紳士服売場の来店数は苦戦が続いている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・統一地方選挙の反動で初旬は好調に推移した。しかし、月総計では、売上、来客数ともに前年並みに終わり、商品により好不調のばらつきが見られた。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・青果、精肉、デイリー商品は、3か月前と比べると若干良くなってきているが、雑貨、衣料は悪い状態が続いている。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・売上は伸びているが、これは営業時間を3時間延長したためであり、実質はあまり変わらない。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客ができるだけ安く、そして、体に良い品を探している様子が見え、はっきりと分かり、消費マインドが冷え切ったままである。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者数に関しては、週末はまずまずだが、平日は少し低調であった。単価に関しては、さほどの落ち込みはない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・依然として他社との受注競争が厳しく、受注単価の低下が続いている。
	やや悪く なっている	百貨店（総務担当）	単価の動き	・単品買いが定着し、価格にますます敏感になっている。野菜、肉、魚の単価は、前年比で90%から93%に落ち込んでおり、菓子や刺身など、少し贅沢品については、非常に売れ行きが鈍くなっている。ただ、SARSの関係で客が中国産を嫌っている結果、野菜については国産品だけを扱っているため、売上が伸びている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・高齢者の客の購買動向が鈍っている。医療費の負担増加などの不安が、個人消費低迷に結びついている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・単価について、3月までは前年を上回っていたが、4月、5月は前年を約1.5ポイント下回って推移している。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・客の奪い合いが激しく、競争相手の価格や客のニーズに合わせた販売方法を研究して、さらに価格を下げているため、なかなか単価が上昇しない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・相変わらず購入態度が慎重であり、特に高級品については、購入までに相当時間を要している。更に、単品買いの傾向も強まっている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・来客数は減っていないが、販売数量が商品によっては1割くらい減少している。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客の様子をみても、SARSや天災など暗いニュースばかりで、購買心理が向上かないのが現状である。
		観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・SARS問題等から消費マインドが低下しており、先行き不安と相まって、お金を使おうとする雰囲気がないように感じる。
都市型ホテル（経営者）		来客数の動き	・イラク戦争の影響から国内旅行が増えると思っていたが、SARS騒動のため、旅行を手控えている感があり、来客数が減少し、単価も下落している。	

		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・社内旅行、グループ旅行は例年通りの件数を受注できているが、景気の悪化とSARSの影響から規模は縮小されており、中国、東南アジア、ハワイなど海外旅行は皆無の状態である。さらに、一般個人の旅行相談が非常に減っている。
	悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者） 観光名所（経営者）	販売量の動き 来客数の動き	・店頭販売はあまり変化していないが、業務店向けの販売量が大幅に落ちている。 ・SARSに感染した台湾人医師の問題の影響が残っており、安全宣言が出たものの、観光客は激減している。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・首都圏のトラック排ガス規制による特需からクレーン車の販売が好調であり、特に小型クレーンは前年を大幅に上回っている。
	変わらない	化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・原料高の傾向にあるが、末端ユーザーへの価格転嫁が厳しく、企業収益の改善が図れない状況にある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・客のニーズを先取りした製品は売れているが、低価格志向は依然として強い。
	やや悪くなっている	金融業（融資担当）	取引先の様子	・地元の建設業では、単価の下落が続いており、底が見えない状況にある。ホテル、旅館業に関しても、売上の減少傾向が続いている。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・SARSの影響から仕事が全然入ってこない、また、品物が入ってきても売れないということで、資金繰りが苦しくなっている取引先があると聞いている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大型工事が少なくなっており、手持ち工事は前年の7割以下に落ち込んでいる。
		輸送業（支店長）	取引先の様子	・夏の需要期に向けて期待していた海洋深層水を使った飲料水関連商品が、誤った検査結果による水銀混入騒動から、量販店の棚から撤去されたり、出荷停止となり、大きな打撃を受けている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・ハローワークに行くと、求人コーナーには人がいなかったが、求職コーナーは20代、30代の男女が座るところがないほど、人の出入りが激しかった。
		悪くなっている	公認会計士	取引先の様子
雇用 関連	良くなっている	食料品製造業（従業員）	それ以外	・中国からの鶏肉関係の輸入禁止が続いており、その影響が大きくなっている。
	良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・全体的に求人依頼が増えており、なかでも会社のプロモーションや事業プロモーションCM、パンフレット、ホームページ制作に関する求人が非常に増えている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人依頼が前月比、前年比とも20%増加している。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・新規求人依頼が少なく、3月末の契約終了件数をカバーできない状況が続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・派遣採用の枠がパートに切り替わる案件が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数とも前年同月比でマイナスが続いている。新規求人に関して、製造業、運輸通信業、サービス業で前年同月比プラスに転じているが、パート求人や期限付き雇用の増加が要因であり、依然として厳しい状況が続いている。
	悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は、5か月連続で前年比増加しており、希望退職者の募集等による非自発的離職者も多くみられる。また、求職者の滞留傾向もみられる。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新規出店、改装オープンなど建物の落成に取引業者を掲載し、オープンの広告をする落成広告がここ数か月少なくなった。それとともに、街で新築の建物が激減しており、商売意欲がかなり減退していると感じられる。